



特定非営利活動法人

メコン・ウォッチ

〒110-0016 東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3F

Tel: 03-3832-5034, Fax: 03-3832-5039

E-mail: info@mekongwatch.org

Website: <http://www.mekongwatch.org>

メコン・ウォッチ ファクトシート ラーシーサライダム

Fact Sheet : Rasi Salai Damⁱ

Project Name: Rasi Salai Weir (Rasi Salai Dam)

Location: Rasi Salai District, Srisaket Province

プロジェクトの概要

ラーシーサライダムは、ムン川中流域に 1993 年に完成した灌漑用のダムである。このダムは、コンチームーン導水計画ⁱⁱの一環として、科学技術環境省エネルギー開発・推進局の元で建設された。現在はタイ王立灌漑局が運転する。

事業費

建設コストは予算 1 億 4000 万バーツの 6 倍強、8 億 7100 万バーツに上った他、予定されていた補償の支払いが続いている。



Rasi Salai Dam

ダムの環境・社会影響

ダム建設地周辺は、モンスーンの影響で約半年間の乾季には強い乾燥にさらされ、雨季には 3 か月間水没するという特殊な気候条件にある湿地と浸水林が約 600 km²広がっている。住民はこれを *Pa Bun Pa Tham* と呼び、動植物の採取、農業、漁業、放牧に利用していた。太古に海だったこの地域は、地下に広く岩塩層広がる。そこから地上にしみ出した塩を集める製塩も、古くから行われていた。

ダム建設前、住民は行政機関から可動式のゴムの堰を作ると伝えられており、反対はなかった。だが、実際に建設されたのはコンクリート式のダムである。同ダムの貯水池は 100 km³にも及ぶが、環境アセスメント法施行前の事業で事前の調査は行われなかった。住民の多くはダム建設により、湿地を利用した稲作やそのほかの生業の機会を失った。また、ダムが貯水を始めた 1993 年には灌漑設備は未完成で、住民は新たに灌漑された農地を得ることはなかった。タイの NGO によると、水没した湿地は 10 万ライⁱⁱⁱ、計画上の灌漑農地は 3.4 万ライ、実際に灌漑されたのは 1 万ライ程度だという。推定で 1 万 5000 人以上が貯水のため農地を失った他、ダムの貯水により塩害

も発生している。住民が伝統的な塩づくりを行っていた場合は貯水池内に 150 か所あったが水没して利用不可能となった。



Pa Bun Pa Tham (Rainy Season)



伝統的な製塩 (2002 年撮影)

Pa Bun Pa Tham は、メコン河からムン川へ回遊する魚の産卵場としても重要だった。同時期にムン川河口に建設されたパクムンダムがメコン河からの魚の遡上を妨げた上に、ラーシーサライダムは更に、その産卵地をも破壊した。二つのダムの累積影響で、メコン河の魚の再生産は大きな負の影響を受けたと考えられる。また、浸水林の独特の生態系の多様性は非常に高い。そこに生息していた水生生物や植物、鳥なども影響を受けたとみられるが、前述のように環境アセスメントは行われていないため詳細は不明である。

豊かで複雑な生態系を持つ *Pa Bun Pa Tham* は、地域住民の生活に様々な自然資源を提供していた。だが、ラーシーサライダムの影響でその生態系が劣化した結果、地域住民の生活様式も存続の危機にさらされ、環境の変化で次世代への自然資源利用の知識の継承が危ぶまれている。

住民の運動

ダムの影響で湿地内での様々な生業の機会を失い、住民は補償を求め始めた。だが、政府は慣習的に土地を利用して住民に利用権はないとみなし、住民の要求に応じなかった。そのため住民の一部は 1996 年、全国的な住民運動のネットワーク **Assembly of the Poor** に加わり政府と交渉を始めた。1999 年 8 月には、約 2 千人の村人がダム貯水池付近に小屋を建て抗議行動を始めた。その際住民は、今までの補償だけでなく、ムン川下流のパクムンダムの住民と同様、ダムの水門を開き、川と *Pa Bun Pa Tham* の生態系を回復することを要求に掲げている。タイ政府は 2000 年から 2 年間、ラーシーサライダムの水門を開放し調査を行った。だが、2004 年の閣議決定では、ダムの継続使用と年間 4 か月の水門開放が決まっている。その後も住民は抗議運動を続け、2009 年には環境社会影響の緩和のための委員会が設立されたが、そこに住民代表が加わることが政府と合意された。また、農地の補償も承認され、**Assembly of the Poor** に加わった住民だけでなく、他の複数の住民グループも対象に、合計 7 回補償が支払われている。2013 年 2 月までの補償総額は 18 億 8600 万バーツ (2016 年現在のレートで約 5,787 万米ドル) に上っている。

【参考】

Living River Siam. “Basic information about Rasi Salai dam”

http://www.livingriversiam.org/3river-thai/rs/rsd_info_e1.htm

สนัน ชูสกุล. “ความจริงที่ราษีไศล “ป่าทาม” มดลูกของแม่น้ำอีสาน”

<http://e-shann.com/?p=2182>

ⁱ 当初はダムと呼ばれていたが、住民の反対が大きくなったため、堰と呼ばれるようになったという。現在、公式資料では堰となっている。

ⁱⁱ 東北タイの水不足を解消するとして、1980 年代に推進された。この導水計画では 42 年間にチー川とムン川に 13 のダムを建設し、最終的にメコン河にもダムを建設することになっていた。住民の強い反対、補償交渉の混乱などで事業は進んでいないが、2016 年になってタイ政府が推進をほめかしている。

ⁱⁱⁱ タイの面積の単位 1 Rai=0.16ha